

声明：ロシア軍のウクライナ侵攻に反対し即時撤退を求める

文芸教育研究協議会 全国委員会

ロシアのウラジミール・プーチン大統領が承認した武力行使は、「特別軍事作戦」という名の侵略戦争です。ウクライナ市民への無差別攻撃、核兵器使用をほのめかす脅迫、原子力施設への攻撃は、国際法違反であるばかりでなく、人道的な罪、人類としての教訓に背く蛮行であり、許すわけにはいきません。

また、プーチン政権による情報統制、報道規制、戦争に反対するロシア市民への言論弾圧は民主主義への攻撃であり、見逃すわけにはいきません。さらに、この機に乗じて湧き上がる「核共有」「自国を守るために軍備が必要」といった日本国内の主張にも耳を貸すわけにはいきません。

私たちが「ちいちゃんのかげおくり」（あまんきみこ）、「一つの花」（今西祐行）、「たずねびと」（朽木祥）、「川とノリオ」（いぬいとみこ）などの文芸作品から学んだのは、平和こそが人間の幸福の前提条件であるということです。平和ではなくても幸福という事態は絶対にあり得ないのです。

私たちは、今も命の危険にさらされているウクライナの人々、プーチン政権の暴走に異を唱えるロシア市民、戦争に反対し平和を希求する世界中の人々と連帯して、ロシア軍のウクライナ侵攻に反対し、ロシア軍の即時撤退、互いの立場を尊重した対話による解決を強く求めます。

2022年3月12日